

非核の政府を 求める大阪の会

第162号 2014年7月1日

ニュース

非核の政府を求める大阪の会 豊島 達哉
 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 (新谷町第3ビル 210号)
 TEL.06(6765)3032 FAX.06(6765)3033
 URL・http://homepage3.nifty.com/hikakuosaka/
 E-mail・hikakuosaka@hotmail.com
 hikaku-osaka1986@nifty.com

非核の会全国総会開催される

核兵器廃絶へ「被爆国」としての責任を



来年の首に向けて
 六月一四日に開かれた非核の政府を求める会の第二九回全国総会に、大阪から中川代表世話人と私(豊島)の二名が出席してきました。
 総会議案の報告では、NPT再検討会議準備委員会などでの議論の内容や、団体、個人の報告等を具体的に指摘され、核不拡散条約(NPT)再検討会議が開かれる来年に向けて、核兵器廃絶を求める国際世論が、核保有国を包囲している情勢であることが確認され、日本政府が被爆国にふさわしい役割を果たすよう迫っていく運動を強めることが提案されました。また議案では「核抑止論」が核兵器禁止条約の交渉を開始する上で大きな障害となっているとの指摘がなされ、「核抑止論」は核兵器による軍事的緊張と脅迫を永続、拡散する極めて危険なものであることを系統的に解明し追求していくことの重要性が指摘され、「核抑止論」を打破するためにもヒロシマナガサキにおける被爆の実相、核兵器の非人道性を世界の共通認識にする必要性が強調されました。討論では、中川代表世話人から、「ヒバクシャ」という言葉は、現在では原爆被「爆」者、原発事故の被「曝」者を包摂する意味を有している。非核の会においても今後更に原発事故におけるヒバクシャの問題や

わしい役割を果たすよう迫っていく運動を強めることが提案されました。また議案では「核抑止論」が核兵器禁止条約の交渉を開始する上で大きな障害となっているとの指摘がなされ、「核抑止論」は核兵器による軍事的緊張と脅迫を永続、拡散する極めて危険なものであることを系統的に解明し追求していくことの重要性が指摘され、「核抑止論」を打破するためにもヒロシマナガサキにおける被爆の実相、核兵器の非人道性を世界の共通認識にする必要性が強調されました。討論では、中川代表世話人から、「ヒバクシャ」という言葉は、現在では原爆被「爆」者、原発事故の被「曝」者を包摂する意味を有している。非核の会においても今後更に原発事故におけるヒバクシャの問題や



原発再稼働を含めた原発施策問題を積極的に位置づけるべきとの問題提起がなされました。私からは、ノーモアヒバクシャ訴訟の現状と大阪の会で行った自治体アンケートの内容(とりわけ今年NPT再検討会議に向けた自治体での取り組みについての質問事項を加えました)を紹介しました。(なお、自治体アンケートの内容については別稿参照)
 討論では、そのほかに集団的自衛権の問題、沖縄県知事選の情勢等の報告がなされ、また非核三原則法制化の運動は、NPT再検討会議での核兵器廃絶に向けての世論形成や、日本政府に被爆国として

- 【非核五項目】**
- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争阻止、核兵器廃絶の実現を求める
 - ② 国是とされる非核三原則を厳守する
 - ③ 日本の核戦場化へのすべの措置を防止する
 - ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
 - ⑤ 原水爆禁止世界大会の開催を合意にもつづいて国際連帯を強化する

の役割を果たさせるためにも現在において極めて重要な運動課題であることが指摘されました。また、それぞれの地方で自治体アンケートや、自治体との懇談をした内容についても議論が出されました。討論を含めた議案全体の採択の後、新世話人(※)の選出があり、そして「戦争する国」づくり許さず、核兵器廃絶、非核の日本を求める共同大きく」と題する「国民のみなさんへの訴え」を採択しました。(豊島達哉)
 (※豊島事務局長が全国の常任世話人に選出されました)



心決意

あふれて

「なくそう核兵器」市民のついで
成功をバネに

五月一七日エル大
阪・大ホールで行われ



被曝体験を話す高木静子さん

た「核兵器禁止全面禁止アピール」大阪百万

署名推進委員会」主催の「つどい」には、府内各地から八五〇名の参加で大成功をおさめました。冒頭、子どもたち六〇名をふくむ一六〇名の合唱構成「ぞう列車がやってきた」のうたごえが会場を魅了。その後、原水爆禁止運動の歴史を記したDVD上映や高木静子さんの被曝証言、「核兵器廃絶の先頭に日本がたつべきであり、日本が変われば世界は動く」というステイブ・ン・リーパーさんの「記念講演」が参加者に深い感銘をあたえました。更に一五地域・団体による「一分間の活動報告スピーチ」、青年の広場、NPT再検討会議への決意表明などで盛り上がりました。寄せられた多数のアンケートでも「子どもたちのうたごえに涙が止まらなかった」、「もっと被爆者の証言を聞きたい」、「署名を集めなければ…」などの声が寄せられました。この会場では新たに五名の方

からNPT参加の申し込みや追加の署名用紙申込み多数ありました。この間「つどい」成功に向け、メッセージや募金、署名などにご協力を頂いた全ての皆様から感謝申し上げます。

引き続き、六月三日〜七月七日までの国民平和大行進、八月一日ピースイン大阪、八月四日〜六日原水爆禁止二〇一四年世界大会IN広島への五〇〇名の代表派遣に全力をあげます。

アピール署名は、現在大阪の到達点が五三万四千筆（六月七日現在）で全国最多となっていますが、この面でも皆様の一層のご協力をお願いして、「つどい」のお礼にかえさせていただきます

(岩田幸雄)



リーパー氏先頭にピースパレード

巡洋艦レイク・エリーの入港をめぐる

米ミサイル巡洋艦レイク・エリーが四月に大阪港へ入港した際、安保破棄実行委員会、平和委員会、原水協、非核の会の四団体は大阪市に対し入港を認めないよう要請していた。要請書は、一九九四年の大阪市議会決議「大阪港の平和利用に関する決議」にもとづいて平和の商業港の立場を貫き入港を認めるべきではないこと、核兵器搭載の有無をどう確認しているのかなどが柱になっていた。大阪市からの回答があり、四団体と大阪市港湾局との交渉が五月三〇日に行われた。交渉をとおして浮かび上がった問題は、一、核兵器搭載の米軍機・米艦船は自由に日本に出入りできる核密約が今日でも適用されていること。核兵器の搭載は二〇一〇年米核戦略見直しによって、

大陸間弾道ミサイル、原子力潜水艦、B2爆撃機に絞られたとはいえ、核戦略が変われば戦艦が核兵器を搭載したまま無通告で日本に寄港する仕組みはそのままとなっている。米海軍の対地トマホーク

ミサイル（巡洋艦レイク・エリーにも発射セルがある）から核弾頭は外された、と発表されているが、二〇一一年のリビア内戦に際して米海軍はトマホークを使用しており、これに核弾頭を装備する可能性は依然として残っている。

二、港湾法はもともと軍艦の入港を前提に作られたものではない。したがって商業港での商船と軍艦を平等扱いすることが妥当とは言えない。また、外務省は、日本の港湾への米艦船の寄港の根拠を日米地位協定第五条にあるとしているが、われわれはこの条項は米軍に「入港料を課さない」という規定であって、入港できるという規定

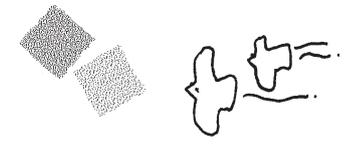
ではない、と解するが、大阪市の見解は明確でない。三、寄港する船舶が爆発物、火薬、放射性物質、毒物などを積載している場合、許可申請が必要である。大阪港に入港する米艦船に弾薬や放射性物質、劣化ウラン弾などが搭載されていないと確認できるのか、今回米軍艦の入港時に放射線測定を行っていたのか、との追及に明確な回答はなかった。（沖縄での戦闘用ヘリ墜落事故では、回転主翼の亀裂をチェックするセンサーに放射性物質が使用されている疑いがあると地元紙は報じている）

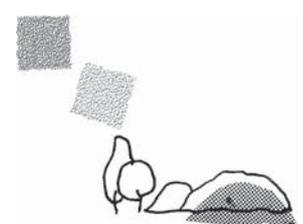
住民の「安全・安心」を担保するというなら、大阪市は九四年の平和利用決議・非核自治体宣言を生かし、大阪港への米艦船入港に際しては「非核証明書」の提出を求め、核兵器や放射能から住民のいのちを守るよう強く求めていきたい。

(長尾正典)

2014年度各自治体非核・平和施策紹介

毎年各自治体で実施される非核平和施策を紹介いたします。これは市町村の関係部門へのアンケートを基に当会が集約した今年度の抜粋です。関係者の皆さんのご協力に感謝します。

| 自治体 | 住民への啓蒙活動や施策の内容・草の根運動への後援・施策 その他施策、 今年度の予算額 | NPT再検討会議に関連して ①平和首長会議呼びかけの署名への対応②NPT再検討会議への市長・住民代表等の参加③NPT再検討会議に向けての具体的な取組 | 放射線測定器の所有の有無及び種類 |
|-----|---|---|---|
| 大阪府 | ピースおおさかにおいて通年で、戦争・平和に関する展示、映画上映、紙芝居、資料貸出、戦跡ウォーク等を実施。(小・中学生は入館料無料、子ども向け映画上映等) 平和行進等への知事メッセージを送付 その他の施策:特になし ピースおおさかへの補助金175,705千円(展示リニューアル経費等を含む) | ①特になし②考えていない③特になし | γ線用シンチレーションサーベイメータ、γ線電離箱式サーベイメータ、α線用シンチレーションサーベイメータ、GM計数管式サーベイメータ、中性子線用サーベイメータ、可搬型モニタリングポスト |
| 大阪市 | ピースおおさかにおいて、講演会・映画会等を実施 平成26年度 当初予算34,667千円(大阪国際平和センターへの運営補助) | ①取り組みなし②予定なし③特記事項なし | ①シンチレーション式サーベイメーター ②個人用積算線量計 |
| 能勢町 | 12月に「人権と平和のつどい」を開催予定、その他の施策:該当なし、予算:953千円 | ①平成26年度に加盟②考えていない③特になし | 所有していない |
| 豊能町 | 小中学校の修学旅行「広島・長崎」 その他の施策:なし、予算:なし | ①今後検討、②③なし | なし |
| 箕面市 | 平和関連のパネル展等を行う予定(らいとびあ21)、平和関連のパネル展等を行う予定(ヒューマンズプラザ)、戦時生活資料展(郷土資料館)展示は日時未定、その他の施策:箕面市非核平和都市宣言の周知・啓発など 予算:60千円(平和施策のみならず、人権、国際理解などと一体化した事業として) | ①②③特になし | 消防本部:サーベイメーター6個、ポケット線量計17個 ②環境政策課:サーベイメーター1個 |
| 池田市 | ・修学旅行で小学校は広島、中学校は長崎・沖縄を訪れ平和学習を実施・各小・中学校とも7~8月に非核・平和に関する学習を実施・人権や非核・平和をテーマにした作文やポスターを募集し人権作文集・ポスターの展示・募集を作成して全児童生徒に配布・人権ポスター展を開催 その他の施策:平和行進団体の激励、メッセージ、 予算:605千円(市民安全実行委員会事務事業) | ①取り組んでいない②考えていない③特になし | 消防署の救助用資機材として整備 |
| 茨木市 | <非核平和都市宣言30周年記念行事予定> ①非核平和展を開催予定7/29~8/3②非核平和都市宣言30周年記念式典8/3③被爆ピアノコンサート8/3④阪急茨木駅並びにJR茨木駅前にて非核平和街頭啓発を実施予定8/6、市役所本庁において、原爆死没者を慰霊し、あわせて世界恒久平和を祈念するための黙とうの実施を市民に呼びかける市内放送を閉庁時間外なので前日に実施する予定①8/5②8/8 その他の施策:被爆石の設置(中央公園)市庁舎に懸垂幕を掲出、市公用封筒に非核平和啓発標語を印刷、市内各公共施設に非核平和都市宣言パネルを設置 予算:2,219千円 | ①検討中②不参加③現在予定なし | サーベイ&ドジメーター4台、 ポケット線量計34台 |
| 高槻市 | 「非核・平和への取り組み」 非核平和都市宣言文の周知(HPや看板等)、全国非核平和都市宣言自治体との連携、核実験への中止要請と抗議、平和モニュメントの管理、被爆の石の管理、平和展事業の開催、その他事業・被爆アオギリ2世及び被爆クスノキ2世の植樹、資料保全(タチソパネル模型、語り部ビデオ等)、平和啓発パネルの貸出し①今年度の「平和展事業」(予定)8/7、8/8、常設展・パネル展示、小学校の平和学習のDVD上映、折鶴・平和の木展示、平和を願う絵本の読み聞かせ、戦中食試食(8日のみ予定)ほか・講演会(7日)テーマ「核兵器のない平和な世界をめざして」秋葉忠利さんによるお話、音楽祭:テーマ「愛・いのち・平和」市民参加の音楽祭(8日)、その他の施策:非核平和都市宣言旗の作成、各種非核平和行進隊へのメッセージ送付、黙祷の実施(8月6日と9日) 予算:非核平和都市宣言旗22千円、平和モニュメント等の清掃64千円、日本非核宣言自治体協議会分担金60千円、平和展事業880千円 合計1,026千円 | ①現在のところ具体的な取り組みは行っていない。②市単独での参加は予定していない。③現在のところ、具体的な取組は行っていない。 | シンチレーション式 1台 電子ポケット線量計 46個 GM管式15式(表面汚染測定器4式含む)、電離箱式2式、警報測定器82式 |
| 島本町 | 7月・人権と平和のつどい、戦中食試食体験、パネル展示 その他の施策:平和啓発アニメ上映、終戦記念日に関連した平和啓発記事の掲載 予算:698千円 | ①特記事項なし②考えていない③特記事項なし | なし |
| 豊中市 | 平和月間事業 豊中市・沖繩市 兄弟都市提携40周年事業 平和資料巡回展①7/14~7/18市役所第二庁舎②7/22~7/27市民ギャラリー③7/29~8/3蛸池公民館④8/6~8/13中央公民館⑤8/22ローズ文化ホール⑥8/23~8/26千里公民館、豊中市・沖繩市兄弟提携40周年事業 平和講演会9/6(豊中人権まちづくりセンター)映画上映「第一次世界大戦から100年 映画『西部戦線異状なし』8/27(豊中人権まちづくりセンター、旭堂南北一人語り「ひろ・しま」18/23(伝統芸能館)、平和ビデオ上映会8/6~8/13(中央公民館)、①第31回蛸池納涼祭前夜祭7/25ルソーレ3階連絡デッキ②人権講演会(現在調整中)8/22(蛸池公民館)③平和・人権パネルの展示(現在調整中)8/4~8/28(蛸池公民館)④ほたる平和映画会(現在調整中)8/18(蛸池公民館)パネル展「中東紛争」7/24~7/29(庄内公民館)島唄が結ぶ平和の心~豊中市・沖繩市兄弟都市提携40周年記念・平和月間事業~8/29(千里公民館)平和月間パネル展および戦争と平和に関するビデオ上映会、パネル展8/13~8/18 ビデオ上映8/13~8/15、8/18 (青年の家のいぶき)、平成26年度 戦没者並びに空爆犠牲者追悼式10/3(とよなか男女共同参画推進センター)すてっぷ、展示「戦争と平和の本」※市内8図書館において、近代から現在までの戦争と平和に関する本を幅広く集め、展示・貸出を実施。①8/1~8/31岡町図書館②8/1~8/31服部図書館③7/29~8/31庄内図書館④7/20~8/31庄内幸町図書館⑤8/2~8/31高川図書館⑥7/3~9/3千里図書館⑦7/29~8/31東豊中図書館⑧7/1~8/31野畑図書館⑨7/19~8/31蛸池図書館、草の根運動への後援・共催については、市民団体の平和の取り組みへの後援を行っている。平成26年5月28日現在情報、事業内容変更等発生する場合あり。 予算:1,032千円 | ①平和首長会議が主体で呼びかけている署名等は、前向きに検討する予定②予定なし③平和首長会議総会等に出席し、役員都市等と連携した運営体制で一日も早い核兵器廃絶に向けた取り組みの強化に取り組んでいる | 電離箱式・GM式(ポケット含む)・シンチレーション式  |

| | | | |
|------|--|---|--|
| 自治体 | 住民への啓蒙活動や施策の内容・草の根運動への後援・施策 その他施策、 今年度の予算額 | NPT再検討会議に関連して ①平和首長会議呼びかけの署名への対応②NPT再検討会議への市長・住民代表等の参加③NPT再検討会議に向けての具体的な取組 | 放射線測定器の所有の有無及び種類 |
| 吹田市 | ・小・中学生への啓蒙では人権と平和をテーマにした「じんけん作品」の募集・市民平和のつどい 非核平和資料展「絵日記でつづる学童疎開」パネル展及び市民から寄贈された戦時中の生活用品や軍隊に関する資料の展示8/2~8/7、「落語と浪曲の夕べ」8/6、平和祈念資料館の管理運営 市民から提供された戦時中の生活用品や軍隊に関する現物資料等の常設展示及び平和に関する資料の収集と貸出し、平和映画会の開催、その他平和に関するイベント その他施策：日本非核宣言自治体協議会に加盟し、広島平和祈念式典及び長崎平和祈念式に参列。平成25年度は市内の中学生を中心とした広島平和大使を広島市に派遣し、平和祈念式典に参列した。予算：36,510千円 | ①取り組んでいない②不参加 ③なし | あり |
| 摂津市 | 7月・8月を平和月間と定め各種事業の実施、平和パネル展、平和演劇祭、市内公共施設における映画会等、平和黙祷の実施、広島・長崎への記念式典への派遣(隔年)他、その他施策：平和行進団体の激励、メッセージ 予算：770千円(平和施策推進事業) | ①していない②考えていない ③取り組みなし | なし |
| 枚方市 | ※枚方市では啓蒙活動という表現は使用せず、啓発活動として実施。 住民団体、学校単位で希望がある際に、戦争遺跡等の見学説明会を開催、8月 平和映画会、8月初旬~中旬(予定) 平和資料室特別展(パネル展・映画上映) 3月 枚方市平和の日記念事業 「平和の燈火」「平和メッセージ発信」、その他施策：現在検討中 予算：7,742千円 | ①市として署名の呼びかけ等は行っていないが、署名用紙を庁舎受付に設置する形で協力②現在検討中③今後検討 | 全β線測定装置 |
| 寝屋川市 | (1)恒久平和を願う市民のつどい ①8/9(寝屋川市立中央公民館講堂)・平和に関する講演会 講師：鎌田實さん テーマ「チェルノブイリ・フクシマ～困難な時代をどう生きるか～」・平和のバラ写真展 原爆・戦争パネル展 ・戦中食「すいとん」試食コーナー ②8/12恒久平和祈念の式典 市民の皆様から平和の折鶴を募集し、寄せられた折鶴を恒久平和を願う千羽鶴にし、市内平和の塔にささげる。(2)平和のバラ苗木配布12/6(寝屋川市立総合センター1階) 平和のバラを育てることにより、幸福と恒久平和を再認識するために、希望する市民に抽選でバラの苗木を配布(3)親と子の平和バスツアー-8/1日(帰り)(参加者・小学生以上の親子)滋賀県平和祈念館の見学等(4)平和行進7月(2回)本庁玄関前 平和関係団体来庁予定 あいさつ、お茶の接待等(5)黙祷(庁内放送) 寝屋川市民等来庁者に対し、広島・長崎原爆投下日、終戦記念日に黙祷の呼びかけ、予算：恒久平和を願う市民のつどい①963千円②25千円、平和のバラ苗木配布197千円、親と子の平和バスツアー4千円、平和行進4千円 | ①現在のところ取り組んでいない②現在のところ考えていない③非核平和都市宣言に基づき、核兵器廃絶運動に粘り強く取り組んでいくことが重要であると考えている。 |  |
| 交野市 | 平和祈念式典(10月予定)、平和の鐘打鐘(市内寺院の協力により8/6、8/9実施予定) その他施策：なし 予算：300,000円 | ①現在のところ取り組んでいない②検討していない③なし | なし |
| 守口市 | 平和のつどい(講演会・アニメ映画)8/8 その他施策：被爆の日に黙祷(8/6・8/9)終戦記念日に黙祷(8/15)、市予算4万円 | ①検討中②考えていない③未定 | なし |
| 門真市 | ①人権・平和に関する講演会の実施(予定)8月 内容：未定 講師：未定②小・中学生への啓蒙活動や施策「社会科」の授業における戦争や平和に関する学習や「特別活動」における実地学習並びに「道徳の時間」「総合的な学習の時間」等における国際理解教育を全小・中学校において進めている。③草の根運動への後援 时期的に早い段階のため、平成26年度は「5月19日時点で後援の依頼なし」、その他施策：①人権や平和に関するビデオの貸出②平和行進への対応、予算：53千円(担当課総額) | ①現在のところ取り組みなし②予定なし③未定 | なし |
| 四條畷市 | 「平和人権展」(8/1~2)語りつぐ平和の大切さ・平和人権パネル展・子ども平和展(遊び、学習コーナー)・戦中食試食会・平和映画会・親子フィールドワーク(天王寺動物園：戦時中の動物園展)8/11・黙とう呼びかけ(庁内放送等)来庁者及び職員に対し、広島・長崎原爆投下日、終戦記念日に黙とうの呼びかけを行う(8/6,8/9,8/15)、その他施策：平和行進・平和の火リレー受け入れ、 予算：358千円 | ①取り組んでいない②考えていない③取り組んでいない | なし |
| 大東市 | ・折り鶴コーナーの設置・千羽鶴の作成・戦跡を巡る平和バスツアー・ヒロシマ記者ツアー・広報誌や防災無線を使って、広島・長崎の原爆投下時間に黙祷・平和パネル展・親と子で平和を考えるつどい、その他施策：なし、 予算：650千円 | ①特になし②考えていない③特になし | 所有していない |
| 東大阪市 | 住民へ：8月平和アニメフェスティバル、平和資料展、平和パネル展などを実施、小中学生へ：原爆被害者の体験講話、その他施策：人権・平和関連ビデオ貸出、予算：平和行事経費 1,593千円 | ①今後の平和事業等で署名活動を検討②市長参加未定、住民代表参加は不明 | サーベイメータ線量計 |
| 八尾市 | 長崎被爆体験講話 市内小中学校16校で実施(7月)、「平和のつどい」(8月)、懸垂幕「非核・平和宣言都市 八尾市」の設置(8月)、黙とうの実施(8月)、公用車に平和啓発のシートを取り付け(8月)、市民の戦争体験募集・FM放送(随時)、平和ウォーク(仮称) 予算：1,991千円 | ①平和のつどいで「核兵器禁止条約」交渉開始等を求める署名コーナー設置、参加者に署名呼びかけ②予定していない③日本非核宣言自治体協議会や平和首長会議のもとに他都市と連携して取組 | 消防本部において所有 電離箱式サーベイメータ1台、サーベイメータ1台、レムガー1台、電子式個人線量計5台、ポケット線量計3台 |
| 柏原市 | ・「柏原市平和展」の開催8/2~4、・柏原市市内全域で8月15日に終戦記念日の黙祷、関係機関から送付されたポスター・チラシ等を市内各施設に掲示、・反戦、非核・平和に関するビデオなどの視聴覚教材の貸出、その他施策：保育園と幼稚園の園児による平和メッセージカードの作成(柏原市平和展に展示)・平和行進への協力、予算：1,369千円 | ①平和首長会議に加盟し連動した活動を行っている②参加は考えていない③特に具体的な取組は行っていない | なし |

| | | | |
|-------|--|---|---|
| 自治体 | 住民への啓蒙活動や施策の内容・草の根運動への後援・施策 その他施策、 今年度の予算額 | NPT再検討会議に関連して ①平和首長会議呼びかけの署名への対応②NPT再検討会議への市長・住民代表等の参加③NPT再検討会議に向けての具体的な取組 | 放射線測定器の所有の有無及び種類 |
| 松原市 | 平成26年度非核平和展8/4～8/8(はーとビュー) 予定テーマ、予定企画内容：・原爆の岡丸木美術館所蔵のパネル展示、・大阪国際平和センター所蔵のパネル展示、・広島平和記念資料館所蔵のパネル展示、・ふるさとびあプラザ所蔵資料の企画展示、・体験コーナー、折鶴コーナー、昔のあそび体験、大型布製紙芝居、玄米つき、・上映コーナー(戦争関係のDVD等の上映)、・読書コーナー(平和関連の図書や絵本)、・ご意見コーナー、・啓発物品の配布、その他施策：非核平和展で市民が折った千羽鶴を、市内小学校修学旅行時に原爆の子の像に掛けてもらう、市役所正面に非核平和宣言都市の固定型看板を設置、市役所中庭に平和を願うアンネのバラ、愛吉・すずのバラを植栽、市役所1階ロビーに平和の鐘を設置、松原中央公園に平和の像を設置、広告塔設置(市の施設敷地内に7箇所)、 予算：682千円 | ①なし②現時点でなし③なし | サーベイメータ α・β用 γ・x用 ポケット線量計 |
| 藤井寺市 | 平和展の開催(8月) 予算：人権団体に、人権啓発事業・平和事業等の事業補助金を交付 128万円 | ①平和展会場にて署名コーナーを設置 | シンチレーション式サーベイメータ |
| 羽曳野市 | 市広報紙による啓発、庁内放送により正午に1分間の黙祷をよびかけ8/6、8/9、8/15、「平和展」の開催(5/5)、市民フェスティバル会場において、公益財団法人大阪国際平和センター(ピースおおさか)より借用の「大阪空襲・市民生活」のパネル展示、平和の願いを込めたハートの風船の配布などを通じて平和の啓発、「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名コーナーの設置、「平和パネル展」の開催(8月に予定)、市役所コミュニティスクエア(ロビー)において、啓発パネルの展示及び「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名コーナーの設置、平和行進等へメッセージの送付、その他施策：平和ゲートボール大会(5/7) 憲法週間にちなみ、日本国憲法が保有する平和主義の精神について広く啓発し、平和の尊さについて考えるきっかけになることを目的に開催「2014年羽曳野市ピースアビールの」発表 予算：166,000円(平和推進事業予算) | ①「平和展&人権展」及び「平和パネル展」において、会場に署名コーナーの設置、市役所本館にて署名コーナーを常設 ②③なし | なし  |
| 太子町 | 終戦記念日の1分間黙祷、その他施策：庁舎窓口付近での啓発DVD放送、予算：人権団体に人権啓発事業・平和事業等の事業補助を交付712千円 | ①現在対応なし②現在予定なし③なし | なし |
| 河南町 | 小・中学生に対する平和を含めた人権の作文・詩・標語等の募集を行う6月～9月、平和を考えるパネル展8月中旬頃、平和を考えるビデオ上映8月中旬頃、平和を考える町民の集い8月末、その他施策：平和人権バスツアー(広報で募集を行いバスで平和関連施設を訪問)10月、 | ①②③未実施 | なし |
| 千早赤阪村 | 平和写真パネル展の開催予定(8月)、非核平和都市宣言懸垂幕の掲出、その他施策：なし、予算計上なし | ①②③なし | 所有なし |
| 大阪狭山市 | 「平和を考える市民のつどい」を開催。8/9(文化会館)、広報誌等で、6、9、15に黙とうを呼びかけ、平和に関するパネルの貸し出し。その他施策：なし、予算：未定(大阪狭山市人権協会の事業費で実施) | ①平和のつどい参加者に署名のよびかけを行う②検討していない③平和のつどい等で啓発パネルを掲示 | 消防にて所有：ポケット線量計14個、空間線量計(GM計数管式)サーベイメータ1個、表面汚染検査計(GM計数管式)サーベイメータ1個 |
| 富田林市 | 広島原爆の日(8/6)、長崎原爆の日(8/9)、終戦記念日(8/15)に市役所内で黙祷と広報による市民への周知、小学生による非核・平和ポスターの取組・「第30回平和を考える戦争展」18～10(展示) 企画展「命のビザ～杉原千敏」「永井隆博士の功績」(仮題)、15年戦争・大阪大空襲と全国の大空襲、広島・長崎原爆についての現物資料とパネル展示、戦時下の富田林(市民からの戦時品・遺品)、折り鶴、ピースアクセサリ、メッセージツリーなど、(平和記念講演会)伊賀孝子さん(大阪震災被害者・遺族の会代表)、(映画・人形劇・紙芝居など)、「親子平和の旅」8/5～6、8月6日「広島平和記念式典」に市民代表として親子1組(2人)を派遣、その他施策：平和学習ビデオの貸し出し(通年)、 予算：2,464千円(被爆者関係除く) | ①「平和を考える戦争展」の来場者に「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める署名への協力をお願いし、集まった署名は平和首長会議へ送付②派遣予定なし③平和首長会議が取り進む署名活動への協力と市民レベルでの気運を高める啓発活動に取り組んでいる | なし |
| 河内長野市 | 平和啓発事業として実施 愛・いのち・平和展7/25・7/26(市立市民交流センター)①市内の戦争関連品や写真、戦時資料の実物展示②折り鶴コーナーや平和メッセージの発信③シベリア抑留語り部の講演④「茶がゆ」の試食体験など、夏休み子ども映画の集い8/30(市立市民交流センター)、平和に関する映画上映を開催、夏休み平和施設見学会8/7(「ソフィア・堺」等を予定)、国民平和大行進及び反核平和マラソン大会に市長メッセージを送付、「広島原爆の日」(8/6)、「長崎原爆の日」(8/9)「戦没者を追悼し、平和を祈念する日」(8/15)には庁内放送により正午に1分間の黙とうを実施。また、黙とうのよびかけを広報誌により市民へ周知。予算：415千円 | ①平和首長会議に加盟し連動した活動を行っている②市長及び住民代表の参加は考えていない③行なっていない | 環境放射線モニター(ハンディタイプ)γ線測定用 |
| 高石市 | 非核平和都市宣言啓発塔の常設(庁舎前) 「高石市非核平和展」(忘れないで平和の尊さ)の開催(7/23～8/8)(小学6年生などから寄せられた「平和ハガキ(約640枚)」の展示、非核・平和に関する写真等パネルの展示、平和に関連するビデオの映写等、懸垂幕「核兵器のない平和な世界をめざそう」の掲示(8月の1ヶ月間)、広報誌(8月号)の人権のページに、非核・平和に関する特集を掲載、関係機関から送付されたポスター・チラシ等の掲示・配布、反戦、非核・平和に関するビデオなど視聴覚教材の貸し出し、その他施策：平和を祈念し、市職員の黙とう(8/6・9)の実施呼びかけ(広報紙で市民にも「黙とうに協力を」と広く呼びかける) | ①市ロビー受付の署名箱にて市民に協力を依頼②考えていない | 有(ただし、委託先の堺市消防局が所有) |

| | | | |
|------|--|---|--|
| 自治体 | 住民への啓蒙活動や施策の内容・草の根運動への後援・施策 その他施策、 今年度の予算額 | NPT再検討会議に関連して ①平和首長会議呼びかけの署名への対応②NPT再検討会議への市長・住民代表等の参加③NPT再検討会議に向けての具体的な取組 | 放射線測定器の所有の有無及び種類 |
| 堺市 | ・平和と人権資料館企画展「平和首長会議ポスター展」7月～9月、平和と人権資料館特別展開催8/20～28、ピースシネマ「堺大空襲」上映7/9、平和と人権を考える市民のつどい」の参加(7/6)(堺市と協力して人権活動に取り組んでいる世界人権宣言促進堺連絡会の主催)、「平和と人権展」の開催8/1～8/6、「さかいっこ」作文、私からの人権メッセージ募集、 平和団体の取り組みに対し、飲み物の提供等による協力(平成25年度実績)反核平和マラソン、反核平和の火りー、国民平和大行進、被爆68周年 2013年非核・平和行進、堺原爆展(堺原爆被害者の会、堺原爆被害者2世の会主催)の後援、その他施策:8月に「非核平和宣言都市・堺市」の懸垂幕を市役所、各区役所等に掲揚、 予算:平和と人権を尊重するまちづくり条例推進事業費2,252,000円、自由都市・堺平和貢献賞11,774,000円、平和と人権展2,250,000円、平和と人権資料館運営費16,433,000円、世界人権宣言促進堺連絡会事業補助金1,214,000円、啓発塔2,500,000円、堺原爆被害者の会補助金(2団体に交付) 160,000円、 | ①「平和と人権資料館」に於、毎年度、企画展を開催。今年度7月から平和首長会議加盟都市5000達成記念「原爆ポスター展」の開催を予定、平和首長会議の取組の周知に取り組んでいる。②今のところ、市長出席の予定なし③「ふえにつくすたより」で「核兵器をめぐる国際情勢」をトピックスで掲載等、さまざまな機会を通じて市民に核兵器の脅威を伝え続けるとともに、核兵器廃絶の国際的な取組の周知に努力 | シンチレーションサーベイメータ2台、電離箱式サーベイメータ2台、GM計数管式サーベイメータ2台、エネルギー補償型GM管2台、パンケーキ型GM管1台、中性子サーベイメータ3台、ポケット線量計6台(消防局所有)GMサーベイメーター(保健所 保健医療課所有)、シンチレーションスペクトロメータ(衛生研究所所有) |
| 和泉市 | 市民公募による「和泉市人権平和事業実行委員会」と連携・協働で実施 第16回平和千羽鶴展開催に伴う啓発と千羽鶴の公募の呼びかけを5月広報紙で実施、千羽鶴展は7月初旬から8月下旬の間、市内公共施設等に展示、平和映画会『少年H』を8/23に実施、各小・中学校へ「平和千羽鶴展」の案内、平和啓発ビデオの貸し出し、市民から寄贈いただいた戦時用備品の貸し出し、その他施策:人権平和市民研修会の開催(戦跡等のフィールドワーク等)、平和の集いの開催(講演会・コンサートやパネル展示等)、予算:1,086千円 | ①取り組んでいない②考えていない③なし | なし |
| 泉大津市 | 平和メッセージ展7/10～14(いずみおおつCITY アルザアトリウム)、平和バス見学会(8/7)、平和パネル展8/1～8/8(泉大津市役所1階ロビー)、サイレン吹鳴(8/6・9・15)、平和行進団体へのメッセージ、「非核平和啓発看板」庁舎外壁に掲出、非核平和柱などを市内9か所に設置、その他施策:なし 予算:386千円 | ①取り組みなし②考えていない③なし | 消防署において、ポケット線量計、簡易の線量計を災害時用として備蓄 |
| 忠岡町 | ・中学校では沖縄への修学旅行の前に、平和学習を行っている。・平和行進(町長メッセージ)7月①啓発懸垂幕の掲出②街頭啓発(8/15)③ピース大阪見学会(8/5)④非核平和パネル展(8/12～8/19)⑤非核平和図書コーナー設置(8/1～8/18)⑥終戦記念平和祈念事業(町長メッセージ、平和の鐘打鐘)8/15、その他施策:特になし 予算:非核平和事業啓発物品代50,000円、借上料90,000円、使用料78,000円 | ①署名予定②予定なし③特になし | 所有せず |
| 岸和田市 | ①子ども平和映画会6/21(マカホール)・小学生対象に午前・午後映画を上映。(ガラスのうさぎ)・平和関係写真パネルのロビー展示②平和行進・マラソン湯茶接待(時期未定・市役所新玄閣) 平和行進・マラソン参加者に対し湯茶接待を行う。③巡回平和パネル展写真パネルを展示し平和啓発を行う。地域紛争下の子どもたちに関するパネル 桜台市民センター6/11～6/17→八木市民センター6/18～6/24→市役所新玄閣6/25～7/2→山直市民センター7/3～7/9→春木市民センター7/10～7/16→東岸和田センター7/17～7/24、ミニ原爆展 産業高校7/3～7/16→女性センター8/7～8/12④非核平和資料展(7/30～8/3自泉会館)、第五福竜丸とマーシャル諸島の核被害に関するパネル展示、原子爆弾に関するパネル、現物資料等を展示し、平和啓発を行う。また、映画の上映、朗読グループによる朗読劇を実施する予定。⑤「被爆地・ヒロシマへの平和バス」(7/27～7/28広島市) 市民40人を広島へ派遣し、広島平和祈念資料館見学、平和祈念公園見学、被爆体験講話聴講、平和ビデオ視聴を通じ、非核平和に関する研修を行う。その他施策:国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館・公益財団法人長崎平和推進協会が学校向けに無料で実施しているピースネット事業(長崎在住の被爆者がインターネットテレビ会議システムを通じて小学校児童に被爆体験を語る)を岸和田市立小学校5校を対象に実施。 予算:平和推進事業 1,606千円 | ①具体的な取組はしていない②考えていない③具体的な取組はしていない。但し、毎年実施している平和啓発事業を継続して行い、市民に平和の大切さ、戦争の悲惨さを伝えることが重要だと考えている。 | アロカ(株)ICS-321 |
| 貝塚市 | 関係機関からのポスターやチラシの掲示・配布、「貝塚市平和教育基本指針」に基づき、各学校が平和教育に組織的・計画的に取り組む。小中学校で夏季休業中に平和登校を実施。小学校は広島、中学校(1校を除き)は長崎、沖縄への修学旅行で反戦・平和を学習、草の根運動への後援・施策、平和行進へのメッセージ・激励、戦争と平和、人権を考えるつどい(不定期開催)、その他施策:原爆死没者の慰霊・平和祈念の黙祷・平和記念像・核兵器廃絶平和宣言都市碑・「平和のともしび」像、予算:78万円 | ①取り組んでいない②考えていない③取り組んでいない | なし |
| 熊取町 | ①小・中学生がポスターを作成することにより平和を学習②啓発用パネル及び上記で作成したポスター展を開催 その他施策:平和フィールドワーク 予算:137千円 | ①組織的な取組なし②考えていない③組織的な取組は考えていない | 個人線量計、GMサーベイメータ、電離箱式サーベイメータ、中性子サーベイメータ、シンチレーションサーベイメータ、可搬型ダストサンプラー |
| 泉佐野市 | ①「平和を考えるつどい(映画会)」(予定)、反戦・平和に関するアニメ映画上映、・広島・長崎原爆パネル展8/6前後に開催予定(泉佐野市立中央図書館)、②市広報への関連記事の掲載、③庁内放送での黙祷の呼びかけ8/15、その他施策:特になし 予算:特になし | ①平成24年度に1か月間、市役所に署名コーナーを設けるなど集まった署名を平和首長会議事務局に報告②予定していない③特になし | ポケット線量計 サーベイメータ |
| 田尻町 | 平和について考えるパネル展、町立学校における平和学習、 その他施策:なし 予算:0円 | ①②③なし | なし |
| 泉南市 | ①非核平和の集い8/17(市立文化ホール)1部:戦争体験記発表 2部:「平和の祈り」コンサート ソプラノ歌手 大島久美子さん&ピアニスト 泉南市人権啓発推進協議会等と共催で実施②懸垂幕の掲出8/1～8/31(市役所壁面)③ビデオ上映8/1～8/15(市役所ロビー)「つるのついで—とも子の冒険」④非核平和の図書コーナー及び非核平和写真展8/1～8/31(市立図書館)⑤「ヒロシマ・ナガサキ」パネル展・実物資料展示8/5～8/8(市立青少年センター)その他施策:なし、予算:非核平和の集い事業費360千円 | ①取り組んでいない②考えていない③なし | なし |
| 阪南市 | 非核平和パネル展開催(8/4～7)、その他施策:特になし、予算:特になし | ①②③特になし | 所有していない |
| 岬町 | 町内各小学校(3校)・中学校(1校)で平和学習の実施、その他施策:なし、予算:0円 | ①②③なし | なし |

第八回戦争の傷あと

銘板めぐり
清掃ツアー

多奈川方面の潜水艦建造跡地の戦跡と加太砲台跡を巡る

五月三十一日(土)、多奈川方面の潜水艦建造跡地とその周辺を巡りました。岬町九条の会の皆さん大変お世話になりました。参加者の感想を紹介します。

「戦争の傷あと、銘板めぐり&清掃ツアー」という不思議な企画名に惹かれて、思わず参加申込みをしたというのが実情で、炎天下でのフィールドワークで、現地の岬町で平和運動されている方のご協力でこの戦跡めぐりを体験できたと思う。現地の方のご苦勞に改めて感謝したい。

いろいろなところを訪問したが、それぞれの印象深く、そこに足を運ばねばリアルに実感できないという臨場

感もさることながら、ただ観るだけではわからないことも多いので現地の説明などを聞くに連れ、かつてここに軍需工場というのか日本海軍の潜水艦を製造していたドックがあったこと、そのために多数の囚人や強制労働によつて従事させられ、またこの地で故郷の地を踏みことなく亡くなられた人々がいたことに思いを馳せることができた。

岬町の中の多奈川谷(大字、小字?)の正教寺(浄土真宗本願寺派)には、強制労働にかかわった人の遺骨が納められていた。当時としては、法名(他宗では戒名)をつけて納骨されているということは、死者に対する

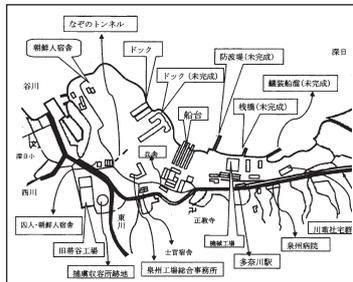


▲朝鮮人労働者の遺骨が祀られている正教寺

差別をしなかつた例として珍しいことだと聞いた。当時としては死者とは言え、朝鮮の人々を一般人と同列に扱わないこともままあつたらしく現在の住職のお母さんにあたる方がその先々代の住職のつた行動について話してくれた。私たちのこの日の訪問のために前日までに随分がんばって調べてくれたと聞いた。かつては小学校で教職をされていたと聞いて、要点を押さえて報告されていた。これにも頭が下がる思いだ。

その後、かつての軍事基地を見渡せる場所に立ち、すっかり変わり果てた関西電力の発電所を見た。戦後すぐに、米軍により撮影されたという航空写真で現地の方に見せてもらったがとても詳しく、ここに潜水艦があるぞと言わんばかりにきれいにドックが映っている。それから戦時中に掘ったという「謎のトンネル」を見て、朝鮮人や囚人たちが暮らした宿舍跡の見学を行った。最後に由良要塞(淡

路島、紀伊半島を間の海峡を守る砲台などを備えた軍事要塞)跡地で和歌山側の跡地を見学した。砲台の地下の弾薬でも入れたのだから煉瓦造りの頑丈な



▲敗戦直後の潜水艦ドック要図

地下の基地跡を見た。ここには五〇〇〇メートルまでしか砲弾が届かない大砲が淡路島、紀伊半島の両側にあつたらしく大阪空襲を行ったB29はこの海域を確かに通って高度一万メートルを悠然と飛行したらしい。参加者の誰かが「これでは勝てるわけがない」と漏らした。

これら戦争における無数の悲劇の背景には、「皇国日本」という異常な価値観、それ以外の文化を否定し、貶め、

差別してきたという目を背けたくなるような教育政策がある。またその戦前のごとくに葬られているはずの価値観を振り回す人たちが、総理大臣をやっていたり、市長をやったりしている。それで「教育改革」をやるうというのだ。

周辺の国々の国民から「やっぱりお前たちは反省していないのか」と言われても仕方がない状況だ。グロー

バル化だの国際社会に對する責任云々が言われながらも、自国の歴史の事実、少なくとも海外の多くの国から見れば日本を客観的に知ることから目を背けている以上は、まともな外交が期待できない国と思われろい。今回改めて思ったことは、戦跡はかつての教育の異常を正直に伝えているということだ。

(栗田三樹夫)

今年の「意見広告ポスター」の受付開始！！

兵器よさらば！
人道に反する核兵器は今すぐ禁止に

草の根の力で、
非核の日本・憲法生かす日本をつくろう

(スローガンは、現時点での原案です。図案検討中)

団体 1口 3000円 個人 1口 1000円

<申し込み先> 非核の政府を求める大阪の会

TEL : 06-6765-3032 FAX : 06-6765-3033

E-mail : hikaku-osaka1986@nifty.com

集団的自衛権 憲法の話IV ③を考える



▲大阪港入港の米巡洋艦レイク・エリー

前回、集団的自衛権は、国際法上国家の固有の権利として認められているとされていることをお話ししました。では、このことと日本国憲法との関係はどうなのでしょうか。特に、国連の集団的自衛権の行動には日本は参加しなくてはならないのでしょうか？

日本国憲法の非軍事的平和主義と国連との関係では、日本が国連に加盟する時点ですでに問題となっており、日本が国連加盟を申請したときに申請書に付された岡崎外相の宣言・書簡には、「国際連合の加盟国としての義務を、その有するすべての手段をもって (by all means at its disposal)、履行することを約束」していましたが、ここでいう日本の「有するすべての手段」という文言には、憲法上「有しない手段をもって」までも「履行すること」はできないという意味が含まれているとされています。この文書を作成する過程に直接関わった当時の外務省条約局長西村熊雄は、後に政府憲法調査会に参考人として出席した際（一九六〇年八月一〇日）、「この文書を發送すること（で）日本のディスプレイにない手段を必要とする義務は負わない、すなわち軍事的協力、

軍事的参加を必要とするような国際連合憲章の義務は負担しないことをはっきりしたのであります」と明確に証言しています。つまり、国連軍が結成された場合でさえ、日本は憲法上の制約故に国連軍に参加できないことを留保していたのであって、国連に対して軍事的協力・軍事的参加はしない態度を明らかにしていたのです。このことは自衛隊発足後の国会答弁において、政府が度々表明していたところでもあります。例えば、自衛隊発足時に、岸首相は、「国連警察軍といいますが、あるいは国連軍、いろいろな目的で国連において海外に派兵するような場合がございませぬが、これに対しては、具体的に日本みずから自衛隊を出して協力するということは、憲法の上から申しまして、自衛隊の本質から申しまして、これは私は許せないことだと思っております」と答

弁しています（一九五八年三月二七日衆議院予算委員会、一九七〇年三月三一日衆議院予算委員会、高辻正巳内閣法制局長官答弁も同旨）。このような従来の政府解釈の立場からも、国連の安保理決議を根拠としようと国連自体の活動であろうとそれを理由にして、自衛隊を派兵してこれに協力する余地は全くないのです。（中西裕人）

二〇一五年NPT第三回準備委員会に参加して

大阪原水協事務局長 小松 正明

「署名を持って来て下さい」の熱いメッセージ

「署名三百七十三万はすごいです。来年のNPTには、もっと署名を持って来て下さい」と、アンガラ・ケイン軍縮担当上級代表の声が五月二日ニューヨーク国連本部、三階軍縮局に響き渡りました。開会前のあわただしい時間を使って、議長エンリケ・モレ大使（ペルー）と

ともに歓迎の笑顔で迎えてくれました。ケイン上級代表からは日本の運動への期待と原水爆禁止世界大会への参加を検討する約束が交わされました。



▲国連軍縮担当上級代表に署名手渡

世界の大きな本流核兵器禁止条約交渉を

四月二十八日、第三回準備委員会は、ケイン上級代表の開会挨拶のあと、すぐに討論を開始。第一スピーカークは、非同盟諸国一二〇カ国を代表してインドネシア大使が演説。「二〇一〇年、NPT加盟国一八九カ国で合意した核兵器ない世界の平和と安全を達成する、を今誠実に実行すべきである。核兵器禁止条約の交渉を始めるべきである」と強調。次の演説国はアフリカ会議五〇カ国を代表して、ケニア大使は「私たちは、非同盟諸国と歩調を同

じくするものである」と演説しました。冒頭から、多くの国々が核兵器保有国を包囲している現在の国連を象徴的に示すものとなっていました。

タイムズ・スクウェアを日本の仲間と一緒に

四月三〇日、大雨にも関わらずピース・アクションなどが私たちの歓迎集会を開いてくれました。「来年、日本の仲間が千人以上でニューヨークにやってくると思っているし、大阪からは一五〇人もくるそうよ。これをちゃんと迎えられるように各組織、全力をあげましょう」とジュディ・ルブランの訴えに、参加者から大きな拍手。来年は、一緒にタイムズスクウェアと一緒にパレードしようと、固い握手を交わしました。